

# 快適性技術



## 三菱自動車が目指す快適性とは

ご利用いただくお客様一人一人の生活課題や利用時の期待に着目し、日々進化するIT技術を取り入れ、運転しやすい環境と心地よく先進的な車内空間で、乗る人全員にワクワク感を提供していくことを目指しています。



感動・ワクワクな音響・映像体験、おもてなし機能(イメージ)



快適に過ごせる体に優しい室内空間  
肌に優しい機能パッケージ(具体例)



Wiper Washer

期待を超える運転サポート機能  
視界補助機能(具体例)

### TOPIC 1

## 運転に自信がもてるコックピット

コックピットにおいて、あらゆる人の運転操作に関する心配事を最小にする運転環境(体験)を提供します。



人間中心設計のプロセスを遂行し、IT/AI/センシングなどの最新技術を活用することで、運転しやすい本質的で効果的な操作装置や情報提示機能の形態・配置を実装していきます。

- 情報提示
- 運転操作性・IVI操作性
- 視界/視界補助
- 姿勢/姿勢保持

など

#### ■操作装置



どんな姿勢変化・振動においても運転操作が確実に  
行える身体性を伴う装置の配置・形態とすることで  
認知～操作行為をより低負荷で行える

#### ■情報提示



人間工学、認知工学の原理に基づいたディスプレイ  
配置やGUI設計とすることで、マルチタスクでも情報  
把握が瞬時に行える

### TOPIC 2

## 乗員全員の心地よさを提供する室内空間

## 移動体験全体を通してのワクワク感をサポートする利便装備

目的地まで楽しく過ごすには、同じ車に乗る全員が共通体験ができたり個別の用事を行えたり、あるいは時には体を休めること等、移動するリビングスペースとして、様々な目的でご利用いただける機能性を提供することが重要であると考えます。

お客様が真に求める移動や目的地到着後のクルマの利用価値と利便性を向上させ、三菱車を使うことのワクワク感を更に高めていきます。

コネクテッドサービス MITSUBISHI CONNECTは、事前に空調の設定や駆動用バッテリー充電量の確認が行え、クルマに乗った瞬間から快適かつスムーズにドライブを始めることができます。今後も更に利用前・中・後における機能の拡充を図っていきます。

